

学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	山 口 県
-------	-------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	防府市立華城小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	4	4	4	2	26	38
児童数	135	125	137	154	142	128	4	825	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を培う授業の構築

2. 研究内容と方法

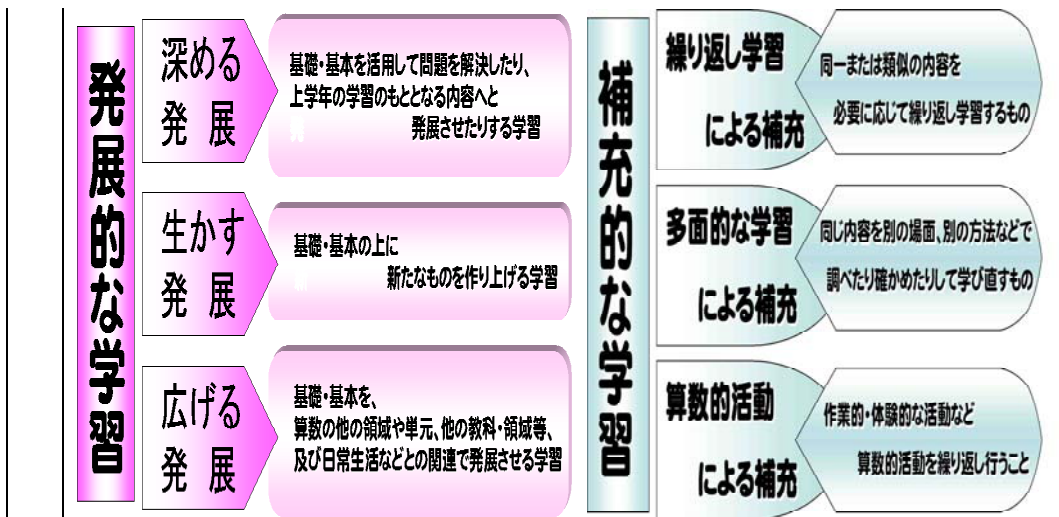
(1) 実施学年・教科

3・4・5年生の算数(全時間)と、2・6年生の算数(週に1.5時間) 児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 少人数指導における学習集団の編成と指導のあり方。</p> <p>仮説 少人数による学習集団を編成することは、一人一人に手をさしのべる機会も多くなり、子どもを全体的・多面的に理解し、個に応じたきめ細かい指導をすることができる。学習内容に応じて、学習形態や指導方法を工夫することにより、基礎的・基本的内容の定着を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> 学習集団の形態は、1学級を2グループに分けることを基本とするが、単元によっては、2学級を3グループや4グループに分けたり、学年を解体して4学級を5グループに分けたりする学習形態を取り入れる。学習集団の編成にあたっては、均一型・習熟度別・課題別・学習方法別などの編成方法を取り入れ、どの単元でどのような学習集団を編成するのが効果的かを授業実践を通して考察する。 年間指導計画、評価規準・基準表の作成。 </p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 子ども一人一人の学ぶ意欲を引き出し、確かな学力を身につけさせる教材の開発と単元化。</p> <p>仮説 子どもの興味・関心に応じた課題別学習や、共通に学ばせるべき基礎・基本となる内容と発展的な内容を明確にした指導計画や単元計画、さらに教材を個に応じた形にすることは、子どもの学習意欲の向上につながる、少人数指導をより効果的なものに行うことができる。</p> <p>研究内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> 1年次の成果や反省点をもとに、より指導効果の上がる学習集団の編成や指導方法の改善に取り組む。 少人数の学習集団に応じた、単元や教材開発に努めるとともに、教師の個性が生かせる授業をめざす。 「発展的な学習」「補充的な学習」を次のように分類し、どのような指導形態や指導場面で取り入れていけば効果的かを、授業実践を通して考察する。 </p>
--------	---



平成16年度

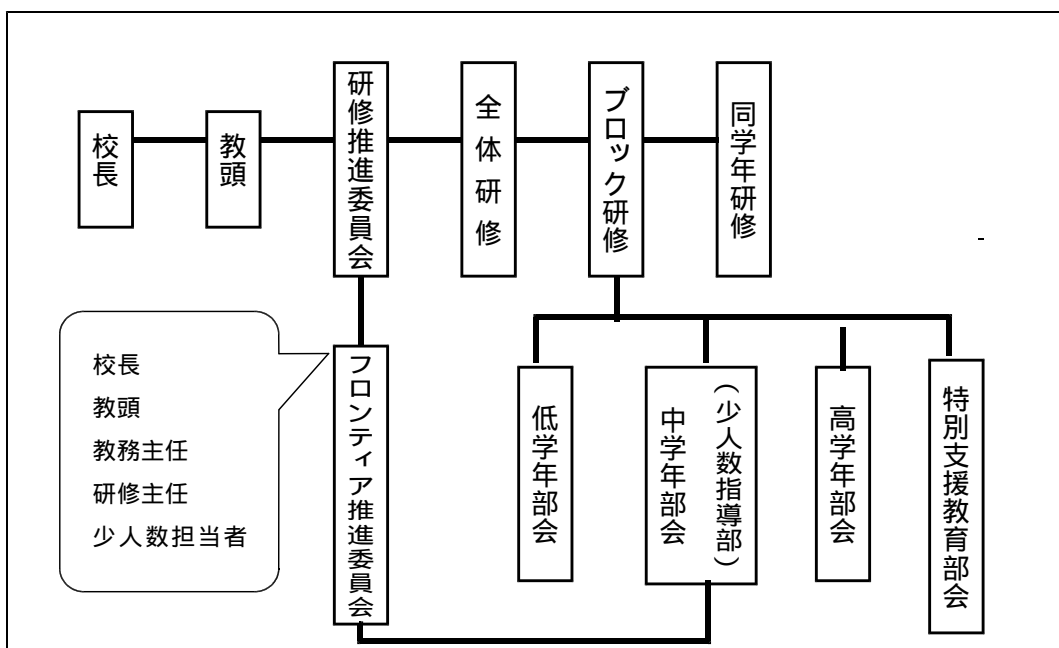
テーマ
確かな学力の定着を図るための評価の在り方と授業評価の試み

仮説
子どもの学習状況を学習前及び学習プロセスで評価することにより、個別指導の必要性やその到達度を診断することができ、個への支援の充実につながり、確かな学力を定着させることができる。また、子どもが身に付いた知識・技能、学び方の良さを自覚できるような自己評価を工夫することにより、学ぶ意欲が高まり、主体的に学ぶ姿に近づいていくと考える。

研究内容・方法

- レディネステストや形成テストを実施し、個別的支援に役立てる。
- 学習カードを利用し、授業の終わりに実施する評価方法を工夫・改善し、授業評価や個別的支援に役立てる。
- 単元の終わりに、児童に授業評価をさせることにより、授業改善に役立てる。保護者や教師のアンケートも参考にする。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

・アンケートに見られる成果

指導方法の工夫・改善のため、児童・保護者・教師にアンケートを実施した。どのアンケートにおいても少人数指導は好意的に受け入れられている。アンケートに共通した「少人数指導のよさ」は、次のようなものであった。

- 一人一人に目がいきとどきやすく、きめ細かい指導ができる。
- 子どもの理解度、興味・関心、学習速度に対応でき、個に応じた指導が可能である。
- 質問や発表がしやすい。
- 個の学びが保障されることにより、できたという達成感や分かる喜びが得られやすい。

指導する教師の立場からは、

- 教材の多様化と指導方法の多様化が図れる。
- 具体物による算数的活動も仕組みやすい。
- 習熟度別のグループ編成においては、指導内容・方法がしぼりやすい。

なども挙げられていた。

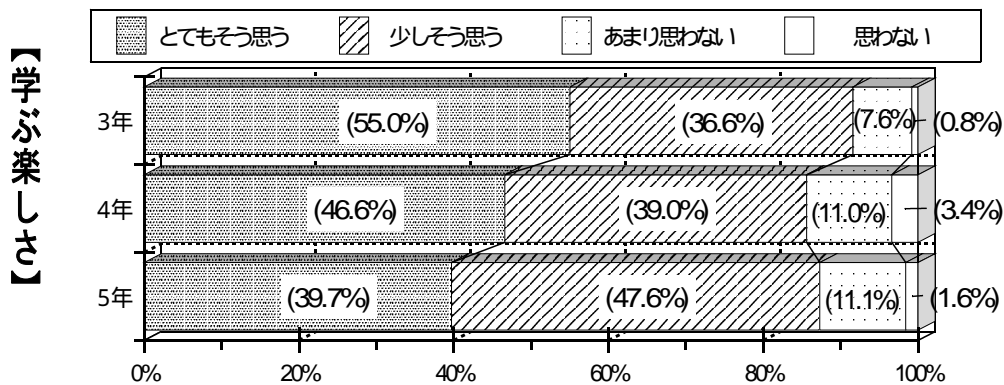
児童アンケートの結果によると、本校の児童の算数嫌いは5%以下で、85%以上の児童が「おもしろい・楽しいと思うことがある」と答えており、発展的な学習や補充的な学習を取り入れた授業が、児童の学習意欲を高めるのに効果的であったことがうかがえる。

・到達度に見られる成果

2年前の学力検査の結果と比較してみると、表現・処理、知識・理解において学力の伸びが見られた。学力が低位の児童の割合が少なくなっている。学習意欲も高い傾向にある。

以下にアンケートの結果の一部と5年の学力検査の結果を示す。

算数の勉強をしていて、おもしろい・楽しいと思うことがありますか。

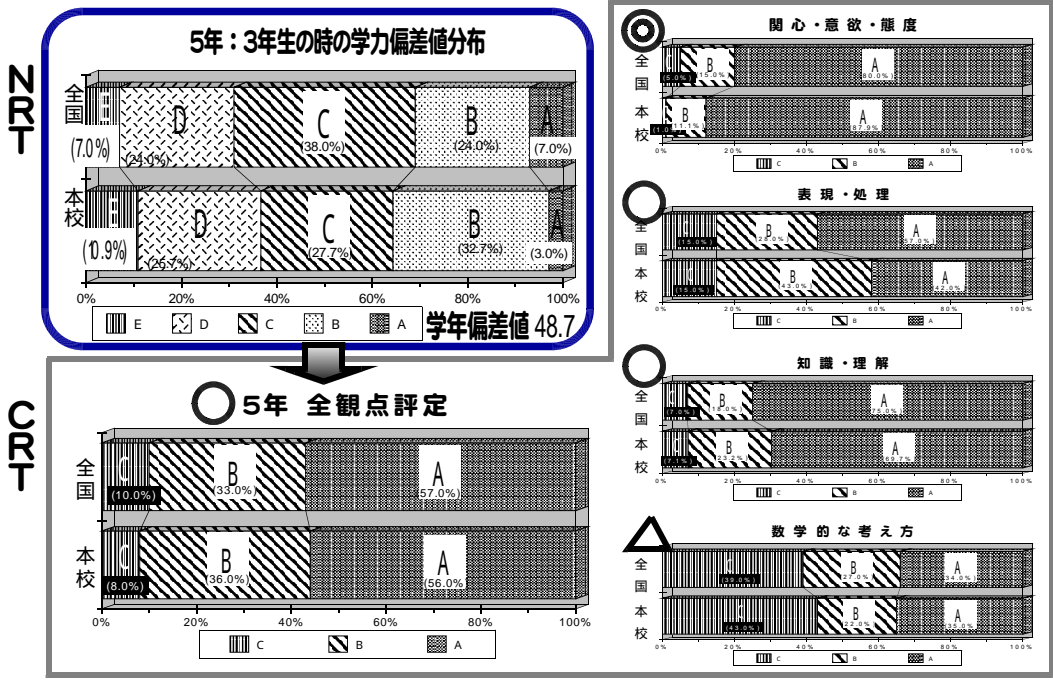
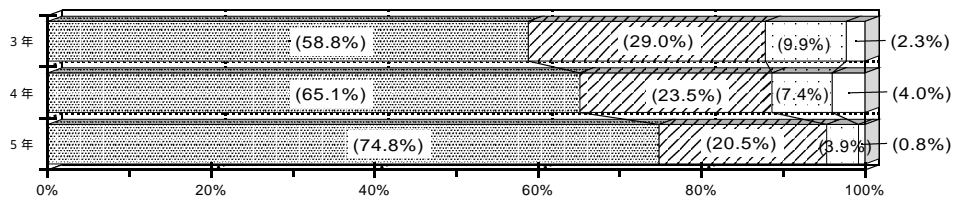


【自由記述】
 『どおんとも思いますが、楽しい』
 『おもしろい』
 『思いましたか？』

- 問題が解けたとき、わかったとき..... 70人
- 先生が楽しくわかりやすく教えてくれたとき..... 44人
- かけ算・わり算・分数などの計算をするとき..... 42人
- 長方形や三角形を作ったり、かさや面積を調べたりする学習をしたとき... 31人
- 発展問題やいろいろなプリントをするとき..... 29人
- 問題をたくさんするときや、すらすら解けたとき..... 27人
- 算数のゲーム(パソコンを含む)をするとき..... 25人
- 分度器やコンパス・電卓などを使って学習するとき..... 18人
- 発表ができたとき..... 15人
- みんなで問題を解いたり、意見を言い合ったりするとき..... 11人

【回答数】404
 ——似たような意見をまとめ多かった意見の中から、10項目を選んだものです。——

算数の問題が、「わかった・できた」という喜びを味わったことがありますか。



2. 今後の課題

・指導と評価の一体化をどのように図っていくか

児童の自己評価や形成的評価を次の指導に生かすためには、指導者の授業前後の話し合いがこれまで以上に必要となる。打ち合わせ時間を確保するのが難しい状況の中で、児童の学びをどのように見取り、指導に生かしていくかが課題である。

・数学的思考力をどのように伸ばしていくか

到達度テストからも、数と計算領域や数量関係の領域においては、習熟度別や課題別のグループ編成における少人数指導の成果がみられたといえるが、量と測定領域や数学的な思考力においては成果といえるものがみられなかった。児童の生活経験や基礎的な学力の積み重ねの差があるため、一朝一夕に成果が出てくる領域ではないと思うが、補充的な指導を積み重ねることにより、少しでも成果を出していけるのではないかと考える。

・発展的・補充的な学習のさらなる充実

今年度は、先生方に、教科書会社や教材会社がホームページなどで紹介している発展問題や補充問題を集め、冊子にして提供することができた。学校独自のものも作成中であるが、いつ、どのような問題を与えるのが効果的か、どのような活用の仕方をするのがよいか等、研究する必要がある。

・授業のさらなる改善

少人数に分けるとすべて指導効果が上がるというものではない。到達度で反省点の多い単元がそれを物語っている。少人数指導が生きるグループ編成をするとともに、一人一人への個別支援が今以上にできるよう、日々の努力を重ねていかなければならない。一人一人の学びを見取っているか、分かる授業をしているかなど、自分自身の授業を振り返り改善していく姿勢をもつために、児童による授業評価や自己評価のあり方もさぐっていききたい。

学力等把握のための学校としての取組

・児童アンケート	目的...学習へ取組の把握と授業改善のため 実施時期...単元終了時、学期末 内容...授業の感想、教師への要望、算数に対する意識
・学力検査	目的...学力から見た児童の変容の把握と授業改善のため 実施時期...12月 内容...CRT目標基準準拠検査

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

(1) 平成15年度「少人数による授業などきめ細かな指導に係る研究協議会」 (西部地区・小学校部会)	日時 平成15年6月17日 13:30~16:30 場所 小郡町公民館 内容 「少人数指導でできる個に応じたきめ細かな指導の実際と効果」 についての実践発表 対象 山口県西部地区の少人数指導に係る加配校における少人数担当者 (推進の中心的役割を果たす者) 当該教育委員会関係者(89名)
(2) 平成15年度 防府管内学力向上フロンティア事業 地区協議会	日時 平成16年1月30日 13:30~16:30 場所 防府総合庁舎 大会議室 内容 研究発表(2年次) 対象 防府管内の学校の代表者、当該教育委員会関係者 各フロンティアスクール関係者及び保護者や地域住民の代表者 (50名)
(3) 学校参観者への説明と協議会	日時 平成15年6月29日 13:00~16:00 場所 本校 内容 授業参観・学力フロンティア事業の成果と課題について 対象 山口県山口市立平川小学校少人数担当者(3名) 日時 平成15年1月22日 13:00~16:00 場所 本校 内容 授業参観・本校の少人数指導について 対象 兵庫県西脇市立西脇小学校・比延小学校(4名)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7~12学級
 13~18学級 19~24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無